

2011年(平成23年)5月10日(火曜日)

整備、利活用の検討へ

増毛山道
抜け道ルート 国の補助事業も視野に

留萌振興局は二十三年度、試験的に復元した増毛町別対〜同町岩尾間にある増毛山道

の抜け道ルート(全長十五キロ)の整備、利活用について関係機関と協議する。これまで道の補助で復元してきたが、増毛山道が暑寒別天売焼尻国定公園内に入っているため国の補助を受けた大規模な復元整備も視野に入れて検討する。また、参加者から利活用について意見を聴く抜け道ルートの自然観察会の開催を考えている。

増毛山道は増毛町別対と石狩市浜益地区幌を結ぶ全長約三十八キロの山道。江戸時代末期にミンケ漁場を請け負っていた商人が自費で開削し、漁場の連絡道やロシア北方警備の輸送路として活用された。

NPO法人増毛山道の会(伊達東会長)が復元に意欲を見せたが、国定公園内や道有林内にあつて国や道の許可がなければ開削はできないため、道が地元の熱意に配慮して二十一、二十二年度に道の事業として抜け道ルート復元へ開削を行った。

復元に向けた開削は今後の利用のあり方を探る意味も含まれ、二カ年の事業を終えたことから今後の整備、利活用について増毛山道の会などの

関係機関と連携して協議することにした。国の事業として抜け道ルートや増毛山道全体の整備が必要かを話し合うほか、今後の利活用について多くの人から意見を聴いて検討する。整備や利活用は、二年ほど時間をかけて協議することも考えている。

復元した抜け道ルートは、安全性から一般開放はしていない。増毛町別対、同町岩尾の出入り口には看板を立てて立ち入り禁止を知らせている。

(佐々木仁)